土岐川グリーンベルト通信 第38号

平成24年度「三ッ池の森」多治見中学校による活動報告

今年度、多治見中学校では、「総合的な学習の時間(環境学習)」 の一環として、1年生188名を対象として、樹林の大切さ・樹林 整備の意義についての学習会を2回、三ッ池の森の樹林整備活動 を1回行いました。

○第1回学習会「森の大切さについて」 平成25年1月17日 講義「森の大切さ、森の働き、樹林整備の必要性」について ~NPO 法人鎮守の森より、長尾講師を招いて~

○第2回学習会「樹林整備前の事前学習」 平成25年1月24日 講義「樹林整備の方法(木の切り方・片付け方、切る木・残 す木など)、安全な樹林整備のためのルール」

実習「ヘルメットのかぶり方」

○樹林整備活動 平成25年2月7日

18 班にわかれて、三ッ池の森を整備

常緑低木や成長の悪い木等の伐採(間引き

• ネザサの刈取り

• 整備面積:約4,000 ㎡





学習会の様子

1/17 第1回学習会「森の大切さ」 -NPO法人鎮守の森より長尾講師を招いて-





密生して生えた木



講義内容 森とは、森の歴史 土砂災害に強い森 なぜ森が必要か (森の大切さ) なぜ森の整備が必

樹林整備活動とは (土岐川流域グリ ーンベルト整備に

要か

ついて)

適度な密度で生えた木

1/24 第2回学習会「樹林整備の事前学習」

-安全で楽しく作業するために-

ヘルメットのかぶり方識習の様子







安全学習の様子(講義)



講義内容

- 整備時の基本装備
- ノコギリの使い方
- 木の伐採方法、片 づけ方
- 樹林整備の方法
- 安全に作業するた めの注意点



2/7 樹林整備活動の様子



生徒は、森の大切や樹林整備の必要性などの事前学習をふまえて、「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」 を目的として、地元の NPO 等の支援のもと、18 班にわかれ、<u>樹林を明るくするための木の間引き、ネザサの</u> 刈取りを行いました。

当日は、多治見中学校PTA、三ッ池の森整備の会、市之倉森づくりの会、NPO 法人鎮守の森、砂防ボラン ティア、多治見市、多治見砂防国道事務所が協力し、生徒への伐採方法の指導や安全管理などの活動支援を行い ました。参加者は、中学生・支援者をあわせて、総勢243名でした。



総勢 243 名が整備に取り組みました



残す木へのマーキング



剪定ばさみを用いたネザサの刈取り

木の伐採



みんなで協力 し、ノコギリで、 常緑低木や成長 の悪い木を伐採 しました

整備前の樹林





切った木の片づけ

切った木は玉切りにし、整理して 林内に置きました







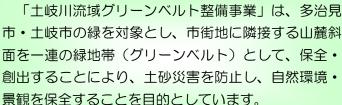
樹林が明るくなりました!



整備後の樹林

生徒の感想例

- 実際にやってみると楽しく、 歩いてじゃまな木を切ったり すると、とても歩きやすい森 になりました
- 自分の生まれ育った町の森を 整備することにより、地域に 貢献できたことや、班の人と いっしょに楽しく整備ができ てよかったです



作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

<mark>〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4−8−6</mark>

TEL: (0572) 25-8020 http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/

